

令和6年度第1回長浜市公共施設マネジメント推進委員会 会議要点録

- 1 日 時 令和6年5月22日（水）14：30～16：10
- 2 場 所 長浜市役所3階 3-Bコミュニティルーム
- 3 出席者 ○委員（8人）
遠藤委員長、横山副委員長、若岡委員、市川委員、西橋委員、藤田委員、平井委員、藤森委員
○事務局（6人）
岩田総務部長、清水財政課長、中村室長、的場主査、本田主査、鹿毛主事
○文化スポーツ課（2人）
岩崎管理監、森副参事
- 4 欠席者 持田委員、野村委員
- 5 傍聴者 1名
- 6 開 会
 - ・岩田総務部長から挨拶
 - ・定足数の確認
 - ・委員紹介
 - ・資料の確認
 - ・会議の公開についての確認

7 議 題

（1）長浜市公共施設等総合管理計画及び個別施設計画の改定について（中間報告）

（説明：財産活用政策室）

- ・資料3、資料4、資料5に基づき説明

■質疑応答・意見交換

（委員）

公共施設の更新費用の試算にあたっては、現状と同じ構造で建て替えた場合を想定しているのか。また、単純に同じ構造で建て替えるのではなく、基本構造はRC造だが一部木造にするなど、構造を変えて建て替えることも検討してはどうか。その方が長期的に見た時に長持ちする場合もある。

（事務局）

現状と同じ構造で建て替えた場合を想定している。更新時に構造を変えることは検討していなかったが、更新費用の削減につながるため検討したい。

（委員）

湖北病院の建替えについては更新費用の試算に含まれているのか。また、今後の財源不足が約1700億円という大きな金額になるが、これには国や県の補助金が入っているのか。

(事務局)

湖北病院も本計画の対象としているが、新設予定の建物については更新費用が不透明であり、推計には含めていない。また、補助金等は加味せず、更新単価を設定し、単純に建替える場合を想定し試算している。

(委員)

当初計画策定時の数値目標に掲げた延床面積削減を達成したとのことだが、その要因は何か。

(事務局)

この 10 年間で一定の施設集約や統合などを進めてきたほか、老朽化した建物の解体や建物付き売却なども積極的に進めてきたことが目標達成の要因だと考える。ただ、これまでは比較的着手しやすいところから進めてきたともいえる。今回試算した将来の更新費用推計をふまえると、今後はこれまで以上に思い切った整理が避けられないと考える。

(委員)

公共施設等総合管理計画は、公共建築物だけでなく土地も計画の対象範囲としているのか。建物と土地は常にセットで考える必要がある。土地の維持管理だけでも年間多額の費用を要しているはず。それを売却することにより、どれだけの削減効果があるか、また、削減していかなければならないか等、トータルコストで考える必要がある。

(事務局)

本計画は土地、建物両方を対象範囲としている。計画では、将来の財政負担への影響がより大きい公共建築物を中心に記載しているが、非常に多くの未利用地があるのも実際のところであり、市有地の売却等も積極的に進めている。未利用地の利活用も重要な課題だと認識しており、今回の計画改定に併せて未利用地に関する取組も盛り込んでいきたい。

(委員)

長浜市は都市計画税を徴収しているのか。また、今後の財政の見通しが厳しいということだが、財源が減るだけでなく、税収を増やすことなどは検討しているのか。

(事務局)

都市計画区域については都市計画税を徴収している。今後人口が減少する中で税収の増加はなかなか見込みにくい、税に代わる一般財源を確保するため、未利用財産の積極的な売却、貸付を進めている。

(委員)

計画改定に伴って精緻な数字を出すことも大事だが、住民の理解を得ながら進めてほしい。

(委員)

建物を解体する際、地元からの意見や要望等は聞いているのか。

(事務局)

施設所管課にて利用者や地域の方にも説明しながら解体などを進めてきた。とりわけ学校などは地域の思い出もあるシンボリックな存在であり、一定の理解を得ることは重要だと考える。一方、旧上草野小学校や旧七尾小学校のように新しい形で利活用されると、新たな地域の活性化にもつながっていくと思う。

(委員)

市町合併により公共施設が増えたため、本来はもっと早くから施設の整理を進めるべきだったと思うが、各地域の思い入れもあり、なかなか難しい問題である。職員は本当に大変だと思うが、心を鬼にして前に進んでほしい。それが結果的に、次の世代へ負の資産を残さないということにつながっていく。目先のことでなく、オール長浜で考える視点を持たないといけない。施設を更新する場合は、本当に必要な施設なのか十分に検討し、3つ4つの施設を減らして1つを建てるぐらいで取り組まないと削減は進まない。一方で、民間企業が公有財産に関わりやすい仕組みを作ることにも目線を向けてほしい。

(2) 長浜市スポーツ施設整備基本計画について

(説明：文化スポーツ課)

- ・資料6に基づき説明

■質疑応答・意見交換

(委員)

武徳殿については、廃止、解体という当初の方針を変更したのはよいことだと思う。

(委員)

計画が腰砕けにならないようにしてほしい。意見を聞くことはもちろん大切だが、易々と方針を変えるのはあまりよくない。ちなみに武徳殿の譲渡先の候補はあるのか。

(文化スポーツ課)

武徳殿については、市民の方々の思いを受け止めながら、公共施設としては廃止の方向で進めたいと考えている。民間活用いただけるのであれば譲渡も手法の1つと判断し記載した。今のところ具体的な譲渡先候補はない。

(委員)

パブリックコメント時の資料に「スポーツ施設としての供用は廃止するが、民間譲渡を検討していく」などの記載があればよかったと思う。

(委員)

伊香ツインアリーナが新しく整備されたが、面積的に小さいので公式大会では使えない状況。様々な大会を誘致してほしいが、長浜市には公式大会を開催できる規模の体育館がない。そのような体育館が1つは必要だと思う。

(委員長)

県や民間企業とのシェアリングなども検討してはどうか。民間のプールを借りている学校もある。

(委員)

全国的に、世界大会や国スポ等を開催できる施設を確保するのが難しくなっていて、単独の自治体で開催というより、広域でカバーしていかなければならない。長浜市が特化する種目を決めて整備するなどということも検討してはどうか。

(委員)

廃止する施設については建物付き売却ということを検討したほうがよい。土地・建物を一括して売却できれば固定資産税も得ることができる。また、彦根市のようにネーミングライツの取組も進めてほしい。

(委員長)

このほか、特に意見等なければ、本日の議題を終了させていただく。

8 閉 会